

令和2年度 第1回発達障害部会 定例会議事録

日時：令和2年7月31日（金）10:00～11:30

場所：かがわ総合リハビリテーションセンター第2研修室

参加者：香川県警察本部、香川県教育委員会事務局、高松市障がい福祉課

高松市こども女性相談課、高松市健康福祉総務課、高松市健康づくり推進課

三木町福祉介護課、高松市総合教育センター、香川こだま学園、アルプスかがわ

高松市障がい者基幹相談支援センター

議題①

1) 令和元年度事業報告に対する意見

- ・『高校生活ガイドブック』のHP掲載版はPDFでなくPPTの方がいろいろなところでアレンジして使えるのでよいのではないか。

2) 令和2年度事業計画（案）に対する意見

<行政職員への啓発研修について>

- ・若者でもひきこもりや貧困の問題など多くの問題を抱えて困っている。地域共生社会推進室では、まるごと相談として一人の人が抱えている様々な問題を相談できる体制を作り、“地域力”を上げようとしている。そのためには研修など障害に関する情報をもっと必要だ。
- ・社会的支援を必要とする人は、複数の行政サービスを利用しているので、たくさんの窓口に行って様々な手続きをしなければならない。窓口の職員が適切に対応するためには、発達障害など特性のある人と接するためのスキルが必要だ。

<高校生活ガイドブック vol.02 について>

- ・ネット犯罪の被害者の半数は、学校で指導を受けている。また9割がフィルタリングなどの防御策を取っていない。学校での指導だけでは十分ではなく、家庭での指導やフィルタリングなどの対策が必要だ。
 - ・高校では年に1回は啓発研修を行っている。しかし、その時にはわかっている、いざその時になると実際には対応できないようだ。
 - ・小学校では高学年の授業では話している。しかし小学校ではまだまだ危機感が乏しい。
- 高校生など子どもにも啓発が必要だが、保護者など大人にも必要のようだ。

議題②次回の定例会について

※開催日・・・令和2年9月25日（金）10:00～11:30

かがわ総合リハビリテーションセンター第2研修室